

第68期 報告書

2015年4月1日～2016年3月31日



ティアック株式会社

証券コード：6803



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2016年3月31日をもちまして、第68期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長

英 裕治

Hanabusa Yuji

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Y. Hanabusa', written over a diagonal line.

当期業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、一部に景気の弱さも見られますが、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いています。また、世界経済は全体的には緩やかに回復しているものの、米国の金融政策正常化の影響や、中国やその他アジア新興国経済の減速、原油価格の下落の影響など、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中で当社グループは、音響機器事業のうち、一般AV機器では、ギブソングループのマルチブランド戦略の中で新たな変革を目指し、従来製品カテゴリーの見直し、マーケティングの強化によるブランド価値の向上を進めました。また、音楽制作オーディオ機器では、当社中国生産子会社の体制を見直

し、コスト削減及び原価低減を達成しました。さらに、情報機器事業では、2015年9月末に当社の子会社である台湾ティアック有限公司の光ディスクドライブ(ストレージデバイス事業)を株式会社アルメディアに譲渡し、事業の選択と集中をさらに進め、当社のコア技術に基づいた事業カテゴリーに経営資源を集中し成長を目指してきました。

当連結会計年度におきましては、売上は全体として前期を上回り、音響機器事業、情報機器事業とも増収となりました。また、音響機器事業におけるコストダウンによる売上総利益の改善や全社的な販売費及び一般管理費の削減により、営業利益につきましては、黒字化しました。

この結果、当社グループの当連結会計年度の売上収益は204億5千5百万円（前期比0.1%増）、営業利益は4千3百万円（前期営業損失14億3百万円）、親会社の所有者に帰属する当期損失は1億9千6百万円（前期親会社の所有者に帰属する当期損失18億7千万円）となりました。

以上のような状況をうけまして、配当につきましては、親会社の所有者に帰属する当期損失を計上する結果となりましたことから、誠に遺憾ながら、配当を見送らせていただくことといたします。

株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

次期の業績見通しについて

音響機器事業は、リソースを重点配分したB to B事業にて第1四半期から新製品導入を進めるのにあ

わせ、当期に行った中国生産子会社の構造改革効果が通年で発現することから、次期につきましても引き続き増収増益を見込みます。

事業の選択と集中を完了した情報機器事業は、航空機搭載記録再生機器、計測機器及び医用画像記録再生機器の3事業に集中し、次期は海外市場を中心にさらなる事業成長を目指します。

2017年3月期の連結売上収益は205億円、営業利益3億円、親会社の所有者に帰属する当期利益5千万円を予想しております。

全グループ社員一丸となって次期の業績見通しの達成に向けて邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

国際会計基準(IFRS)への移行について

当社グループは、当期より従来の日本基準に替えて国際会計基準(IFRS)を適用しており、前期実績につきましても、IFRSに準拠して表示しております。

連結業績ハイライト

		第67期 2015年3月期	第68期 2016年3月期
売上収益	(百万円)	20,434	20,455
営業利益	(百万円)	△1,403	43
税引前当期利益	(百万円)	△1,832	△132
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(百万円)	△1,870	△196
基本的1株当たり 当期利益	(円)	△6.49	△0.68
資産合計	(百万円)	14,648	13,122
資本合計	(百万円)	2,043	802

音響機器事業

64.0%

売上収益 13,097 百万円
(前期比 2.3%増)

セグメント営業利益 750 百万円
(前期比 98.3%増)

ESOTERIC

ステレオパワーアンプ「Grandioso S1」
プリアンプ「Grandioso C1」



高級AV機器（ESOTERICブランド）は、スーパーオーディオCDプレーヤーの既存品が順調に推移し、また、アンプやネットワークプレーヤーなどの新製品や高額スピーカーも比較的好調に推移しました。輸出はアジア市場が好調を維持し、あわせて欧米市場が伸長しました結果、前期と比較して増収増益となりました。

一般AV機器（TEACブランド）は、前期に引き続き、レコード復活のブームを追い風に一体型レコードプレーヤーシステムや単品ターンテーブルが大きく伸長しました。また、大手流通向け製品は堅調に推移し、輸出はターンテーブルやハイレゾ関連の新製品が貢献して主に欧州、北米で前期に比較して伸長、全体としては増収、赤字幅は縮小しました。

音楽制作オーディオ機器（TASCAMブランド）は、楽器市場向けにおいては、リニアPCMレコーダー、マルチトラックレコーダー（DIGITAL PORTASTUDIO）の北米、国内での販売が前期より低調となりましたが、USBオーディオインターフェイスはラインナップの拡充により販売が増加しました。設備市場においては、ソリッドステートレコーダー、CDプレーヤーは安定した販売となりましたが、カセット、MiniDiscなどの旧メディア製品の国内外での需要減により、販売は減少しました。放送局向け機器の販売は、国内において、多くの案件を受注したことにより前期を上回りました。デジタル一眼レフカメラ用リニアPCMレコーダーの販売は、北米以外のほぼ全地域で伸長したものの、北米での販売の落ち込みが響き、若干減少しました。輸入商品においては高額新製品の販売に注力し、利益率の改善を行いました。

- 高級 AV 機器
- 一般 AV 機器
- 音楽制作オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC

TEAC

TASCAM

売上収益
20,455

情報機器事業

32.6%



売上収益 6,662 百万円
(前期比 1.8%増)

セグメント営業利益 664 百万円
(前期比 13.7%増)

ワイドバンドデータレコーダー
『WX-7000 シリーズ WX-7128』

航空機搭載記録再生機器は、機内エンターテインメント機器の国内向け販売は好調に推移したものの、海外顧客向けの大口案件の出荷が延伸したことから減収となりました。

計測機器はデータレコーダー (WX-7000) が通期で好調に推移したことに加え、官公庁向け「生体測定器」の大型プロジェクトの販売により増収となりました。

また、センサーは高額製品の販売及び半導体製造装置向けセンサーの販売が好調に推移しました。

医用画像記録再生機器は国内での消化器内視鏡向け記録機器の販売が伸びずに低調に推移しましたが、手術画像用レコーダーは海外の大口案件などもあり好調に推移しました。

ソリューションビジネスは開発受託が好調を維持し増益となりました。

一部海外販売子会社で継続している産業用光ディスクドライブは、事業譲渡により減収減益となりました。

- 航空機搭載用記録再生機器
- 医用画像記録再生機器
- 計測機器
トランスデューサー
データレコーダー
- ソリューションビジネス
- 介護支援個別ケアシステム
- 産業用光ドライブ

オリジナルブランド

TEAC

百万円

前期比
0.1%増

その他事業

3.4%

● EMS 事業

売上収益 696 百万円
(前期比 36.2%減)

セグメント営業損失 28 百万円
(前期セグメント営業利益 12 百万円)

連結財政状態計算書（要約）

（単位：百万円）

	当期 2016年3月31日現在	前期 2015年3月31日現在
■ 資産		
流動資産	10,443	11,666
現金及び現金同等物	2,524	2,826
営業債権及びその他の債権	3,923	4,576
棚卸資産	3,692	3,927
その他の流動資産	305	338
非流動資産	2,679	2,983
有形固定資産	1,676	1,848
無形資産	634	608
持分法で会計処理されている投資	-	43
その他の投資	127	190
繰延税金資産	28	41
その他の金融資産	184	179
その他の非流動資産	30	74
資産合計	13,122	14,648

	当期 2016年3月31日現在	前期 2015年3月31日現在
■ 負債		
流動負債	5,784	6,016
借入金等	2,458	2,320
営業債務及びその他の債務	1,632	1,877
引当金	674	696
未払法人所得税	10	-
その他の金融負債	29	-
その他の流動負債	980	1,124
非流動負債	6,536	6,590
借入金等	191	311
退職給付に係る負債	5,551	5,266
引当金	672	954
繰延税金負債	9	31
その他の非流動負債	112	28
負債合計	12,320	12,606
■ 資本		
親会社の所有者に帰属する持分	756	2,002
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	74	74
自己株式	△ 119	△ 118
利益剰余金	△ 2,155	△ 1,265
利益剰余金 (IFRS移行時の累積換算差額)	△ 3,430	△ 3,430
その他の資本の構成要素	386	742
非支配持分	46	40
資本合計	802	2,043
負債及び資本合計	13,122	14,648

Point 1 連結財政状態計算書

＜資産合計＞ 現金及び現金同等物、営業債権及びその他の債権、在庫削減に伴う棚卸資産の減少等により流動資産が減少し、資産合計は前期末に比べ10.4%減となりました。

＜資本合計＞ 為替の円高に伴う為替換算調整勘定の減少によるその他の資本の構成要素の減少、マイナス金利政策に伴う退職給付の割引率の低下と年金資産の運用の悪化に起因する退職給付に係る負債の増加及び親会社の所有者に帰属する当期損失の計上による利益剰余金の減少があり、前期末に比べ60.7%減となりました。

Point 2 連結損益計算書

＜営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益＞
音響機器事業におけるコストダウンによる売上総利益の改善や全社的な販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は黒字化しました。親会社の所有者に帰属する当期損失は196百万円となり、前期に比べて改善しました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞
当期における主な内訳は、マイナス要因として営業債務及びその他の債務の減少額294百万円であり、プラス要因として有形固定資産等の取得による支出294百万円であり、営業活動によるキャッシュ・フローは208百万円です。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞
当期における主な内訳は、プラス要因として事業譲渡による収入208百万円、投資有価証券の売却による収入240百万円、マイナス要因として有形固定資産等の取得による支出294百万円であり、投資活動によるキャッシュ・フローは154百万円です。

連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当期	前期
	2015年4月1日～ 2016年3月31日	2014年4月1日～ 2015年3月31日
売上収益	20,455	20,434
売上原価	12,574	12,711
売上総利益	7,881	7,723
販売費及び一般管理費	7,750	8,061
その他の損益	△ 1	△ 26
個別開示項目前営業利益（△損失）	129	△ 363
個別開示項目	△ 86	△ 1,039
営業利益（△損失）	43	△ 1,403
金融収益	12	33
金融費用	200	443
持分法による投資利益（△損失）	14	△ 20
税引前当期損失（△）	△ 132	△ 1,832
法人所得税費用	58	33
当期損失（△）	△ 190	△ 1,865
当期利益の帰属先		
親会社の所有者持分	△ 196	△ 1,870
非支配持分	6	5

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

	当期	前期
	2015年4月1日～ 2016年3月31日	2014年4月1日～ 2015年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 339	△ 680
投資活動による キャッシュ・フロー	183	316
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 100	△ 339
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 46	352
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△ 302	△ 702
現金及び現金同等物 期首残高	2,826	3,176
現金及び現金同等物 期末残高	2,524	2,826

連結持分変動計算書

（2015年4月1日～2016年3月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	利益剰余金 (IFRS移行時の 累積換算差額)	その他の 資本の 構成要素	合計		
当期首残高	6,000	74	△ 118	△ 1,265	△ 3,430	742	2,002	40	2,043
当期包括利益									
当期利益				△ 196			△ 196	6	△ 190
その他の包括利益						△ 1,049	△ 1,049		△ 1,049
当期包括利益合計	—	—	—	△ 196	—	△ 1,049	△ 1,245	6	△ 1,239
所有者との取引等									
自己株式の取得			△ 1				△ 1		△ 1
所有者との取引等計	—	—	△ 1	—	—	—	△ 1	—	△ 1
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替				△ 694		694	—		—
当期末残高	6,000	74	△ 119	△ 2,155	△ 3,430	386	756	46	802

※連結財務諸表の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

貸借対照表 (要約) (当期 2016年3月31日 現在)

(単位: 百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	6,960	流動負債	6,518
現金及び預金	1,679	支払手形	320
受取手形	302	買掛金	707
売掛金	2,009	短期借入金	2,300
商品	1,239	関係会社短期借入金	2,075
原材料	541	1年内返済予定の長期借入金	81
前払費用	136	リース債務	23
関係会社短期貸付金	258	未払金	357
未収入金	819	未払費用	262
その他	3	未払法人税等	40
貸倒引当金	△ 28	前受金	9
固定資産	9,234	預り金	25
有形固定資産	1,627	賞与引当金	131
無形固定資産	182	製品保証引当金	56
投資その他の資産	7,425	返品調整引当金	63
資産合計	16,195	未払消費税等	26
		その他	35
		固定負債	4,724
		負債合計	11,242
		純資産の部	
		株主資本	4,953
		資本金	6,000
		資本剰余金	306
		利益剰余金	△ 1,233
		自己株式	△ 119
		評価・換算差額等	△ 1
		純資産合計	4,952
		負債及び純資産合計	16,195

損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	当期 2015年4月1日~ 2016年3月31日
売上高	13,496
売上原価	8,393
返品調整引当金繰入額	9
売上総利益	5,092
販売費及び一般管理費	5,036
営業利益	56
営業外収益	285
営業外費用	213
経常利益	128
特別損失	322
税引前当期純損失 (△)	△ 193
法人税、住民税及び事業税	27
当期純損失 (△)	△ 220

株主資本等変動計算書 (2015年4月1日~2016年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等 その他 有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金 その他 資本剰余金	利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金	自己株式			
当期首残高	6,000	306	△ 1,013	△ 118	5,175	9	5,185
当期変動額							
当期純損失 (△)			△ 220		△ 220		△ 220
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△ 11	△ 11
当期変動額合計	—	—	△ 220	△ 0	△ 221	△ 11	△ 232
当期末残高	6,000	306	△ 1,233	△ 119	4,953	△ 1	4,952

ティアック新企業理念&タグライン「Recording Tomorrow」、ウェブサイトリニューアル

ティアックは企業理念を一新し、新タグライン「Recording Tomorrow」を付したロゴを2016年4月1日にウェブサイト上で発表いたしました。ティアックは1953年の創業以来、一貫して人々の二度とない一度きりの瞬間の情報や出来事を、次世代・未来に伝えるべく、「記録と再生」をコアに据えて事業展開してまいりました。新企業理念はティアックがどのように「人に」「社会に」「未来に」貢献していくのか、その企業使命と存在意義を明文化したものです。新タグラインは、その新企業理念を簡潔に表現しました。ティアックは「The Recording Solutions Company」として情報機器事業、音響機器事業を両輪とし、この新企業理念を軸に、今後も人々のより豊かなライフスタイルを支援する企業として前進してまいります。

■ ミッションステートメント
記録と再生分野において人々が求める最高水準の技術を追求めし今を未来へつなぐことで人々のより豊かなライフスタイルを支援する

■ タグライン
Recording Tomorrow

TEAC
Recording Tomorrow

なお、新企業理念の発表にあわせ、下記のウェブサイトを全面的にリニューアルいたしました。



- コーポレート <https://www.teac.co.jp/jp/>
トップメッセージも公開しております。
- TEAC <https://teac.jp/jp/>
- TASCAM <https://tascam.jp/jp/>

新製品

上質なデザインと高性能をあわせ持つ **TEAC** アナログターンテーブル『TN-570』

ティアックはフォノアンプ内蔵ベルトドライブ方式アナログターンテーブル「TN-570」を2016年2月より販売開始しました。「TN-570」は人造大理石と高密度 MDF を組み合わせた2層構造シャーシを採用し、スタイリッシュなデザインを実現。光デジタル端子による192kHz/24bitハイレゾデジタル出力、及びUSBデジタル出力を装備することで、デジタルアーカイブの作成や、D/Aコンバーターとの組み合わせで音の変化を楽しむなど、アナログとデジタルが融合したハイブリッドなオーディオを楽しめます。さらに付属するターンテーブルシートには「雲流紙」を使用。帯電しにくくさせる機能性と和紙独特の美しさを兼ね備えました。



フォノアンプ内蔵アナログターンテーブル
『TN-570』

新製品

かんたん操作で音声演出を楽しめる **TASCAM** インターネット生放送向け家庭用放送機器 『MiNiSTUDIO シリーズ』を新発売

TASCAMとニコニコ生放送を運営する株式会社ドワンゴとのコラボレーションにより誕生した、インターネット生放送用オーディオインターフェースを2016年8月より販売を開始します。『MiNiSTUDIOシリーズ』は、聞き取りやすい音声と、楽しめる音声の二つの側面から音声演出をすることが可能。PON機能でテレビ番組のような拍手や歓声を流すことができ、ボイスエフェクトでインターネット生放送視聴者を楽しませることが出来ます。4月に開催されたニコニコ超会議2016においても若年層を中心に大変好評を博しました。(↓ニコニコ超会議2016の様子)



家庭用放送機器
(USBオーディオインターフェース)
『MiNiSTUDIO CREATOR US-42』

■ 会社の概要

商号 ティアック株式会社 (TEAC CORPORATION)
 本社 〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
 設立 1953年8月26日
 資本金 60億円
 事業年度 4月1日～翌年3月31日
 代表者 代表取締役社長 英 裕治
 従業員数 単体 300名 連結 890名

国内拠点

ティアック株式会社

本社 [東京都]

EMC センター [埼玉県]

大阪営業所 [大阪府]

名古屋営業所 [愛知県]

エソテリック株式会社 [東京都]

ティアック マニュファクチャリング ソリューションズ株式会社 [東京都]

ティアックカスタマーソリューションズ株式会社 [埼玉県]

ティアックオンキヨーソリューションズ株式会社 [東京都]

海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]

TEAC MEXICO, S.A. de C.V. [メキシコ]

TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]

TEAC UK LTD. [英国]

TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]

TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]

DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]

■ 役員 (2016年6月21日現在)

代表取締役社長	英 裕治
取締役	野村 佳秀
取締役	Henry E. Juskiewicz
取締役	David Berryman
取締役	Solomon Picciotto
取締役	Bruce A. Mitchell
取締役	Benson K. Woo
取締役	Gerard L. J. Danjou
取締役 (監査等委員)	牧野 信明
取締役 (監査等委員)	原 琢己
取締役 (監査等委員)	坂口 洋二

当社ホームページのご案内

当社は、ニュースリリースや決算発表資料などを、自社ホームページに掲載しています。

投資家向け情報



<https://www.teac.co.jp/jp/>

株式の状況

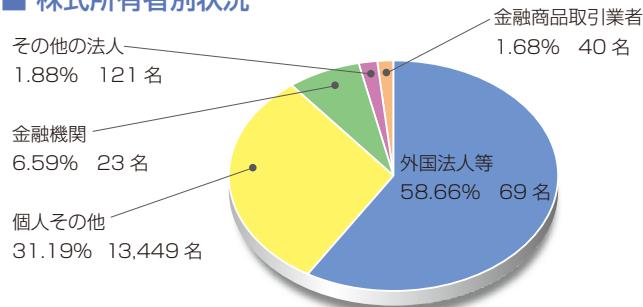
発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	289,317,134株
株主数	13,702名

大株主 (上位10名)

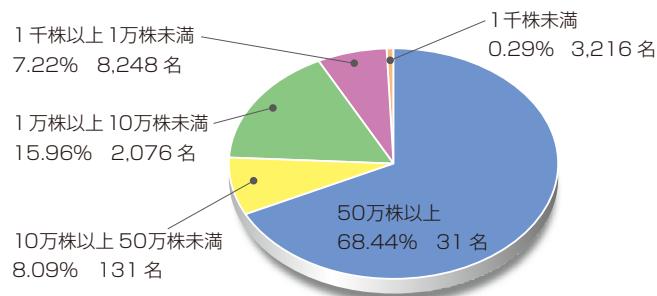
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
Gibson Holdings, Inc.	157,447	54.42
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	3,518	1.22
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,433	1.19
オンキヨー株式会社	2,894	1.00
東京海上日動火災保険株式会社	2,007	0.69
J.P. MORGAN CLEARING CORP-CLEARING	1,871	0.65
ティアック取引先持株会	1,706	0.59
明治安田生命保険相互会社	1,541	0.53
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口6)	1,473	0.51
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,464	0.51

(注) 持株数は表示単位未満を、出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。

株式所有者別状況



株式所有数別状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
単元株式数	1,000株
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う。
公告掲載URL	https://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku (ただし、やむを得ない事由により、電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に公告します。)

【株式事務に関するご案内】

1. 各種お手続きのお問合せ窓口について

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

第68回定時株主総会決議ご通知

2016年6月21日開催の当社第68回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項

1. 第68期（2015年4月1日から2016年3月31日まで）事業報告、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第68期（2015年4月1日から2016年3月31日まで）計算書類の内容報告の件
- 本件は、上記1.2.の内容等をご報告いたしました。

決議事項

第1号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）8名選任の件

本件は、原案どおり取締役に英 裕治、野村佳秀、ヘンリー・イー・ジャスキヴィッツ、デビット・ベリーマン及びソロン・ピチオートの5氏が再選され、新たにブルース・エイ・ミッチェル、ベンソン・ケイ・ウー及びジェラルド・エル・ジェイ・ダンジューの3氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

本件は、原案どおり監査等委員である取締役に牧野信明、原 琢己及び坂口洋二の3氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、原 琢己及び坂口洋二の両氏は、社外取締役であります。

第4号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬額設定の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第5号議案 監査等委員である取締役の報酬額設定の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
TEL 042-356-9100（代表）
ホームページアドレス <https://www.teac.co.jp/jp/>

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 製品の色は、撮影や印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。
- 記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

